

# 令和2年2月定例議会 浜中市長が施政方針を表明



令和元年青梅市議会定例会令和2年2月定例議会の開会にあたりまして、新年度の市政運営に對します施政方針を申し上げ、議員各位をはじめ、市民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

現下の状況は、いままで経験したことのないステージに進んでいます。だからこそ、私は、まちづくりの基本に立ち返り、市民が主体となつて、まちづくりを担っていくべきであると考えております。行政は、この市民の支援や、活動する環境を整える役割を担うべきであると理解しております。このような状況を総合的に勘案し、先の所信表明において、「あそぼうよ！青梅」と呼び掛け、多くの市民が活動し、あらゆるものがつながりながら、新たな創造を繰り返していくまちの実現を目指し、全力で取り組んでいくことをお約束申し上げます。

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年であり、期待感や祝祭感が大いに高まっております。本市は開催都市のひとつでもあり、7月12日に実施される聖火リレーや、パラリンピック聖火を、多くの市民参加のもとで、つなぎ、喜び、ともに祝いたいと思っております。

この機会に半世紀以上のつながりがある姉妹都市ポツパルト市から多くの方々に来ていただき、青梅市民とポツパルト市民とで、ワインなどドイツの特産品を楽しみながら、ドイツ文化を堪能する「ドイツフェスティバル2020」を開催いたします。青梅ポツパルト両市のつながりを確かめ、さらに強めてまいります。

また、ポツパルト市が所在するライブラント・プファルツ州からも各種スポーツで優秀な成績を収めている青少年が7月に本市を訪れ、日本や青梅の文化などを学ぶこととなっております。ホストタウン事業を通じてドイツ連邦共和国とのつながりをさらに拡げてまいります。

カヌースラローム競技の事前キャンプにつきましては、私みずからフランスに渡航するなど、リーダーシップをもって関係者とともに取り組んでまいりました。この度ドイツナショナルチームのキャンプ実施が内定いたしました。新たなつながりを築くことができました。ドイツチームは、メダルの獲得も期待されており、好成績を収めていただけるよう、青梅の良質な練習環境を提供するなど、青梅市民一丸となって応援していきたいと思っております。

吉川英治記念館につきましては、昨年12月の市議会において負担付き寄付の受納について議決をいただいたことから、本年1月に(公財)吉川英治国民文化振興会と本協定を締結いたしました。9月7日の英治忌に再スタートを切れるよう鋭意取り組んでまいります。記念館の運営にあたっては、吉川氏にかかる貴重な資料を確実に継承するだけでなく、吉川氏が旧吉野村の人々と取り組んだ地域活動への情熱などを、地域の人々とともに後世につなぎ、名誉市民である吉川氏の功績を顕彰してまいります。吉川氏には、全国に多くのファンがいらっしゃるなか、多くの来館者をお迎えできるような観光施策との連携など民間事業者のノウハウを活用しながら、本市を代表する魅力ある拠点へと成長させてまいります。

また、クラウドファンディングやふるさと納税などを契機とし、吉川氏のファンが青梅のファンにもなつていただけるよう、ファンとの継続的なつながりを構築し、関係人口の創出へと発展させてまいります。

新年度は「あそぼうよ！青梅」を実践する初年度として、「ひと」づくりと「つながり」づくりに特に注力し、本市のさらなる飛躍のために全力で市政運営に取り組んでまいります。

それでは、新年度に取り組む主な施策について、「第6次青梅市総合長期計画」の柱に沿い申し述べます。

定を締結いたしました。9月7日の英治忌に再スタートを切れるよう鋭意取り組んでまいります。記念館の運営にあたっては、吉川氏にかかる貴重な資料を確実に継承するだけでなく、吉川氏が旧吉野村の人々と取り組んだ地域活動への情熱などを、地域の人々とともに後世につなぎ、名誉市民である吉川氏の功績を顕彰してまいります。吉川氏には、全国に多くのファンがいらっしゃるなか、多くの来館者をお迎えできるような観光施策との連携など民間事業者のノウハウを活用しながら、本市を代表する魅力ある拠点へと成長させてまいります。

ケミコン跡地の活用につきましては、現在、整備基本計画の策定を進めております。新年度は、市の施設、国の施設、民間施設について事業用地内のどの場所に建設するかを大まかに示すゾーニング案に基づき、建設スケジュールを検討するとともに、市民や有識者を交えた市民ホールに関する懇談会を立ち上げ、ホールに関する検討を進めてまいります。

青梅駅前再開発事業につきましては、青梅駅前地区市街地再開発組合の設立を支援するなど、事業の促進を図ってまいります。

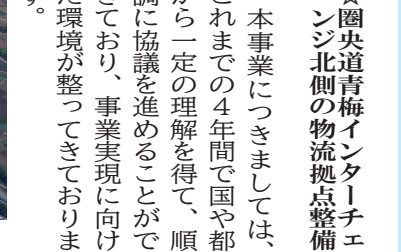
事業経営につきましては、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定するとともに、新年度より地方公営企業法を一部適用し、経営状況の明確化、経営分析の向上を図り、安定的なサービスの提供に努めてまいります。

近年、気候変動によるものと考えられる水害が頻繁に発生しており、治水対策の重要性が増しております。

現在、今井地区の雨水排水先となつております矢端川沿いに取得した土地に、河川の水を一時的に貯留し、浸水被害を軽減する調節池を設置する準備を進めております。新年度は、地質調査および予備設計に着手いたします。

また、大門川につきましても、拡幅改修に必要な詳細設計を実施します。

## 都市基盤が整う魅力あるまち



圏央道青梅インターチェンジ

☆圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備  
本事業につきましては、これまでの4年間で国や都府県から一定の理解を得て、順調に協議を進めることができており、事業実現に向けて環境が整ってきております。

☆中心市街地の活性化  
ケミコン跡地の活用につきましては、現在、整備基本計画の策定を進めております。新年度は、市の施設、国の施設、民間施設について事業用地内のどの場所に建設するかを大まかに示すゾーニング案に基づき、建設スケジュールを検討するとともに、市民や有識者を交えた市民ホールに関する懇談会を立ち上げ、ホールに関する検討を進めてまいります。

## 安全で快適に暮らせるまち



被災した友田レクリエーション広場

☆災害応急対策の充実  
本市においても多大なる被害をもたらした台風19号では、約2千人もの多くの方々が避難施設を利用されました。避難された方々からいただいた声には、テレビなどから得られるタイムリーな気象情報などを知りたいとの意見がありました。災害時における情報収集については、適切な行動のためにも大変重要なものであると捉えております。このことなどを踏まえ、地域防災計画の検証を行い、避難施設の体制とともに、災害応急対策の充実を図ってまいります。

☆公園の整備  
主要な公園のトイレを洋式化することにより、多くの利用者に衛生的に利用していただける公園づくりを図ってまいります。

また、長寿命化計画に伴う、公園遊具の更新につきましては、初めての試みとして、地元の方々の意見を伺い、遊具の更新を進めます。多くの子どもたちが遊び、大人が見守るなど市民の方々が笑顔で利用していただけるように努めてまいります。

☆梅の公園  
新年度の施設整備および梅樹の植栽で復興に向けた整備が終了いたします。苦難を市民の皆様とともに乗り越えたシンボルとして、梅を主体とし、オールシーズンで皆様に親しまれる公園を目指してまいります。



復興への歩みを進める梅の公園

(3面へ続きます)



がんばります!

## 次代を担う子どもを みんなで育むまち

### ☆子育て支援

保育所等に通う子どもが、病気やけがなどで集団生活ができない場合に、子どもを預けることができる病児保育室を、本市で初めて開設いたします。

万が一、子どもの具合が悪くなっても、安心して子どもを預け、仕事ができる環境を整備してまいります。

児童保育所については、東部地区において、待機児童が比較的多く発生しています。これを解消するため、令和3年4月の開設を目指す民間による児童保育所の建設を支援してまいります。

児童虐待防止対策につきましては、子ども家庭支援センターに保健師を1名増員するとともに、関係機関向けの「子どもの虐待防止対応・連携マニュアル」を改訂し体制の強化を図ってまいります。

また、東京都が導入を進めている、児童相談所と子ども家庭支援センターを結ぶ「テレヒキ会議システム」に、市町村として初めて参加いたします。児童相談所等との連携がスムーズになることで、より円滑で迅速な虐待対応を図ってまいります。

### ☆学校教育

小・中学校の施設整備では、時代にあった快適なトイレへの改修を計画的に進めてまいりました。改修後



令和元年度に改修した四小のトイレ

市内には、地理的条件から自転車通学をする中学生がおります。

東京都では、自転車の事故による高額な賠償に備えるため、令和2年4月から条例により自転車利用者本人のほか、自転車に乗る未成年の保護者等に保険加入を義務付けることとなりました。これに伴い、市では、自転車通学する中学生を対象として保険に加入し、費用を負担してまいります。

「コミュニケーションがうまく図れない」、「集中し続けることが難しい」といった児童・生徒に対し、専門的な支援を行う特別支援教室を、これまで段階的に小・中学校へ設置してまいりました。新年度には中学校6校に特別支援教室を設置することで、市内すべての小・中学校に設置が完了いたします。

夏の時期には、暑さを避けて集中して学べる環境づくりや熱中症対策が必要となります。これまですべての普通教室にエアコンを設置してまいりました。これに加えて、今後は利用頻度の高い特別教室へも段階的にエアコンを設置し、学習環境の改善を図ってまいります。

本年度からモデル事業として実施しています民間のプールを活用した水泳授業は、生徒や保護者から高い評価を得ております。このため新年度は小学校1校、中学校1校を追加し、児童・生徒の水泳技術の向上を図ってまいります。

## 文化・交流活動がいきづくまち

### ☆市民文化センター

青梅市文化交流センターにつきましては、開館以来、多くの市民にご利用いただいております。新年度においては、市民映画会を年4回開催することや、釜淵新緑祭において会場の

ひとつとするなどさまざまな事業やイベントを実施し、市民の文化活動および地域交流の拠点としてさらに定着するよう取り組んでまいります。

また、開館1周年イベントとして、山車人形の展示やお囃子体験教室など、お祭りが盛んな青梅にちなんだ企画を実施し、歴史ある青梅の文化を市民だけでなく、市外の方々にも発信してまいります。



## みんなが元気で健康なまち

### ☆市民センター

自分らしく、豊かな暮らしを続けていくために健康への意識が近年高まっています。本年度に作成した「青梅市ウォーキングマップ」を多くの市民に利用していただくことで、運動を始め

るきっかけづくりや、楽しみながら運動を継続することへつなげてまいります。

また、幅広い年齢層を対象とした健康体操教室を、地域連携のさらなる充実

市民センターにて開催いたします。市民に身近な市民センターにおいて、健康体操教室に参加していただくことで、健康の維持・増進や、健康寿命の延伸につなげていただきたいと思います。

また、病院の建て替えに合わせ、医療器械を計画的に更新し、最新かつ高度な医療サービスを提供できるように努めてまいります。

## 福祉が充実したまち

### ☆高齢者

高齢者が増え続ける中、本市の要介護・要支援の認定率は、国や都の平均と比べ低い水準を保っており、元気な高齢者が比較的多い傾向にあると認識しております。

このような傾向を、今後も継続させていくことが高齢者の豊かな暮らしにつながると考えています。

元気な体を維持していくために、各地域で実施する介護予防事業などをさらに充実させ、フレイルと言われる身体的機能や認知機能の低下を予防してまいります。

## 活気ある産業で 雇用が生まれるまち

### ☆観光振興

新年度は、これまでの「おうめ観光戦略」の取り組みの中で生まれた幅広いつながりを活かした事業を新たに展開し、より一層の観光客および観光消費額の増加を目指してまいります。

また、利用権設定による貸借など農地の流動化を進め、新規就農者などの担い手への農地集積を促進し、生産性の向上を図ってまいります。

また、病院の建て替えに合わせ、医療器械を計画的に更新し、最新かつ高度な医療サービスを提供できるように努めてまいります。

また、利用権設定による貸借など農地の流動化を進め、新規就農者などの担い手への農地集積を促進し、生産性の向上を図ってまいります。

また、病院の建て替えに合わせ、医療器械を計画的に更新し、最新かつ高度な医療サービスを提供できるように努めてまいります。

また、利用権設定による貸借など農地の流動化を進め、新規就農者などの担い手への農地集積を促進し、生産性の向上を図ってまいります。

## 自然と共生し環境にやさしいまち

### ☆森林の再生・整備

本年度より交付が開始された森林環境譲与税は、面積の約63%を森林が占める本市において、森林を適切に整備していく上で大変貴重な財源となります。

今後、これらの森林整備の新たな取り組みや、森林の持つ機能や重要性を学習・体験する機会を設けるなど、森林環境譲与税も活用した森林の再生・整備に努めてまいります。

### ☆ごみ減量の推進

7月より、レジ袋有料化がすべての小売店に義務付けられます。本市では、この有料化をプラスチックごみ削減の一つの契機と捉え、エコバックを作成し、イベントなどで配布するこ

とで、ごみ減量につなげてまいります。

### ☆地球温暖化対策の推進

新年度、東京都の交付金を活用し、26台の庁用車を電気自動車に切り替えます。電気自動車は、災害時に「走る蓄電池」としての活用も期待できます。導入を推進することで、温室効果ガスの削減や青梅の自然環境保護の一助にしてまいります。



(4面へ続きます)

### みんなが参画し協働するまち

青梅市には169の自治会があり、地域で最も大きなコミュニティであります。人口減少・少子高齢化の進行と合わせ、地域コミュニティの衰退が続くと、子育て世代にとっては、近所で子育てについて気軽に相談できる場を失い、地域での孤立を招く恐れがあり、高齢者にとっては、持てる力を活用できる場やさまざまな世代との交流の機会が喪失につながります。

新年度は、この地域コミュニティを拡充する事業の一つとして、多世代交流センター事業を推進していきたいと考えております。

各自治会のご理解、ご協力のもと、自治会館を多世代交流センターと見立て、子どもから高齢者まで、世代を超えて交流することができ、施設として活用できるよう、さまざまな方法を検討してまいります。

また、自治会への加入促進や退会防止を含めた自治会活動活性化への支援として、自治会の高齢者見守り活動に対する財政的支援の拡充や、連携基本協定に基づく自治会活動への積極的な支援に取り組んでまいります。



協働で実施している成木地区の盆踊り

### 持続的な行財政運営ができるまち

健全財政を維持しつつ、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、効果的・効率的な行財政運営を進めてまいります。

業務の効率化を図るため、本年度検証してまいりましたRPAなどの先進的な技術については、市・都民税などの賦課事務の一部に導入し、稼働させてまいります。定型業務に費やす時間を減らして、効率化した時間を付加価値の高い業務に振り分けることなどにより、市民サービスの向上に努めてまいります。

また、本年度、実証実験を開始したごみ分別に関する問い合わせ対応を行うAIチャットボットについては、問い合わせ分野を拡大する検討を行い、市役所の開庁時間にとらわれずに、いつでも問い合わせができるサービスとして、確立させてまいります。



ウェイキー & リップル

### ☆マイナンバーカード

新年度中に、健康保険証としての利用が開始される予定であります。令和元年12月末時点の本市のマイナンバーカード交付率は、東京都26市で1位、全国で18位となっております。個人番号を含む、個人情報の管理を徹底して対応し、さらなる交付率の向上を図り、全国1位を目指してまいります。

☆モーターボート競走事業

新年度は、8年ぶりとなる全国発売競走のG1「レディースチャampion」のほか、G1「開設66周年記念競走」や、G1「関東地区選手権競走」を開催することが決しております。今後も、私みずから積極的なトップセールスを行い、高グレード競走を誘致できるように努めるとともに、さらなる売上向上、収益向上を目指してまいります。

以上、新年度の市政運営にあたり、主な施策について申し述べさせていただきます。

青梅市には169の自治会があり、地域で最も大きなコミュニティであります。人口減少・少子高齢化の進行と合わせ、地域コミュニティの衰退が続くと、子育て世代にとっては、近所で子育てについて気軽に相談できる場を失い、地域での孤立を招く恐れがあり、高齢者にとっては、持てる力を活用できる場やさまざまな世代との交流の機会が喪失につながります。

新年度は、この地域コミュニティを拡充する事業の一つとして、多世代交流センター事業を推進してきたいと考えております。



ボートレース多摩川

### あそぼうよ！青梅

過日、私は、「子育て世代と市長との懇談会」を開催いたしました。子育て中の方々から率直で身近な意見や提案などを伺い、愛する青梅で、「やっぱり」子育てしたいとの確固とした意志を感じました。非常に貴重な機会であったと捉えております。市長としての重責を再認識するとともに、この青梅を愛する思いに込めていきたいと改めて強く決意いたしました。

子育て中の母親からいただいた要望のうち、授乳スペースについては、多くの子育て世代が集う、わかぐさ公園や新田山公園に早急に設置することといたしました。そのほかの要望などについても的確かつ迅速に対応し、子育て世代の方々の思いにお応えできるよう支援を充実させてまいります。

一方、提案いただいたもののなかには、すでに実施している事業も含まれておりました。市政に係る情報が必要とされている方たちまで十分に届いていないのではないかと、伝える力、発信力や訴求力が、市としてまだ足りないのではないかと痛感いたしました。こうした実情があるからこそ、私は、懇談会でも賛同を得た「あそぼうよ！青梅」とシンブルに呼び掛けていきたい、また、呼び掛ける必要があると考えております。

「あそぼうよ！青梅」この言葉が持つ力は、これだけではありません。まちづくりには、あらゆる工程で時間を要します。だからこそ、「あそび」の要素を取り入れることで、継続して前向きに楽しく取り組んでいくことができると思っています。

私は、この言葉の持つ力を最大限に活用することと、私の理想とする青梅の未来の姿、「あそび」を起点とした「ひと」や「施策」がつながり合い、つながり続け、飛躍していくまちの実現を果たすことができると考えております。

私は、「あそぼうよ！青梅」の思いを市民と共有し、人口減少下における経験したことのない困難な状況を克服し、市民とともに「やっぱり」青梅と誇ることが出来る魅力に満ちたまちづくりを大いに進めてまいります。

議員各位をはじめ、市民の皆様のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。私の施政方針を終らせていただきます。

### マイナンバー通知カードの受け取りはお済みですか

平成31年3月31日までに市役所に返戻された通知カードの廃棄を行います。まだ受け取っていない方を、3月31日までに市民課(市役所1階)へお越しください。

持ち物等、詳細は市ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 市民課 課長 市民課 課長 市民課 課長

記事IDでさがす 1520

### 交通災害共済「ちよこつと共済」3月31日(火)まで予約加入受付中

加入申込書付パンフレットは、受付を行う市役所市内金融機関(ゆうちょ銀行を除く)等でも配布しています。ぜひご加入ください。

受付場所・時間 市役所1階ロビー ほか

※詳細はパンフレットまたは広報おうめ2月15日号3面をご確認ください。

加入できる方 市内に住み登録をしている方

共済期間 4月1日〜令和3年3月31日

会費(年額)

- ▽Aコース：1千円
- ▽Bコース：500円

共済見舞金 交通災害の程度等により1〜6等級の見舞金が支給されます。

交通遺児年金 詳しくはお問い合わせください。

対象となる交通災害 日本国内で発生した自動車、オートバイ、自転車等の車両や電車などの交通機関の交通による人身事故

★交通事故にあつたら、自転車の単独事故等でも、すぐに警察署に届けてください。見舞金請求には、交通事故証明書(人身事故)が必要です。

問い合わせ 市民安全課 市民安全係

### 新田山公園管理棟に授乳スペースを設置しました

令和元年度第2回子育て世代と市長との懇談会で、要望のあった授乳スペースを新田山公園管理棟(ログハウス)内洗面所に設置し、間仕切り、ベビーベッド、いす等を配置しました。

ぜひご利用ください。お問い合わせ 公園緑地課 公園管理係



地域包括のお仕事が初めての方も歓迎!!

令和2年度会計年度任用職員 募集

高齢者やその家族等の相談窓口として活躍していただきます♪

①介護支援専門員(ケアマネジャー) ②認知症支援コーディネーター

市役所を拠点に、地域包括支援センター業務および高齢者の支援に関する業務に従事する会計年度任用職員を募集します。

応募資格

- ①介護支援専門員の資格を有し、普通自動車免許をお持ちの方
- ②保健師または看護師の資格を有し、認知症のケアや在宅高齢者の支援経験がある方

勤務日時 月〜金曜日 午前9時〜午後5時

給与(日給) ①12,670円、②13,321円

※通勤手当・期末手当(支給要件あり)の支給あり

有給休暇 任用期間に応じて付与 選考方法 書類選考、面接

申し込み 3月23日(必着)までに高齢者支援課(市役所1階)で配布する申込書(市ホームページからダウンロード可)を〒198-8701 青梅市高齢者支援課へ郵送または直接持参

詳細 市ホームページ参照

問い合わせ 高齢者支援課包括支援係

記事IDでさがす 17253

青梅市生物多様性保全協議会を延期します

青梅市景観審議会

広報おうめ3月1日号2面でお知らせした3月24日(火)開催予定の両会議については、新型コロナウイルス感染症が広がりつつある状況を受け、市民や関係者の健康と安全を第一と考え延期としました。

開催日時については、決まりしだい広報おうめ等でお知らせします。

問い合わせ 青梅市生物多様性保全協議会について…環境政策課管理係、青梅市景観審議会について…都市計画課開発指導係